取扱説明書（AUDI/VW編）

もくじ

ご使用になる前に 2

はじめに 3

安全にご利用になるために 4

対応システムと診断機能 6

対応車種一覧 15

診断コネクタ取り付け位置 16

診断の準備 17

車両と接続します 18

電源のON/OFF 21

システムを選択します 23

診断機能 28

自己診断機能 29

基本設定機能 31

データ表示機能 34

単独値読込機能 38

アクティブテスト機能 40

サービスリセット機能 44

システム情報機能 50

ログインコントロール機能 51

アダプテーション制御機能 53

コード制御/レコードモジュール機能 56

ご使用になる前に

はじめに……P3
安全にご利用になるために……P4
対応システムと機能……P6
対応車種一覧……P15
診断コネクタ取り付け位置……P16

はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、AUDI車、VW車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

ご使用になる前に

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- AUDI/VW車の診断はAUDI/VWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

対応システムと診断機能

ご使用になる前に

対応システム

対応システムと、診断機能の関係は以下の通りです。

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
クイックサーチ(2010～)	–	–	–	–	–	–	–	–	●	–
オイルサービス(ESI·SRIリセット)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ブレーキパッド交換(EPB)	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
テクニカルインフォメーション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
01 エンジンエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
02 トランスミッションエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
03 ブレーキエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
08 オートHVAC	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
09 セントラルエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
15 エアバッグ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
16 ステアリングホイールエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
17 インストルメントクラスター	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18 補助ヒーター	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
19 CANゲートウェイ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
22 4WDエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
25 イモビライザー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
35 セントラルロッキング	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
37 ナビゲーション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
45 車内監視システム	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
46 セントラルモジュールコンビニエスシステム	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
55 ヘッドライトレンジコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
56 ラジオ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
11 エンジンエレクトロニクス2	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
21 エンジンエレクトロニクス3	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
31 エンジンエレクトロニクスコンジャンクション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
41 ディーゼルポンプエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
51 エレクトロニックドライブ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
61 バッテリーレギュレーション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
71 バッテリーチャージャー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
12 クラッチエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
13 ディスタンスレギュレーション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
58 補助フューエルタンク	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
81 ギアシフト	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
23 ブレーキブースター	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
43 ブレーキブースターアシスタンス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
53 パーキングブレーキ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
14 ホイールダンピングエレクトロニクス･サスペンションエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
24 アンチスリップ･トラクションコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
34 セルフレベリングサスペンション	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
64 スタビライザー	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
3C レーンチェンジアシスタントシステム	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
5C レーンメンテナンスアシスタントシステム	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
65 タイヤプレッシャーモニターリング	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
59 トウイングプロテクション	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
65 トレーラーファンクション	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
32 ロッキングエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
42 運転席ドアエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
52 助手席ドアエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
62 リア左ドアエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
72 リア右ドアエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
63 運転席ボーディングアシスタンス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
73 助手席ボーディングアシスタンス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
44 ステアリングアシスタンス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
54 リアスポイラー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
1D ドライバー認識	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
26 エレクトロリックルーフコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
38 ルーフエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
68 ワイパーエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
78 右スライドドア	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
0D 左スライドドア	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
6D トランクエレクトロニクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
4F セントラルエレクトロニクス2	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
29 左ライトコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
39 右ライトコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
49 オートマチックライティングスイッチ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
10 パーク･ステアアシスト	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
3B センサーエレクトロニクス	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
6F 制御コンビニエンス2	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
84 ナイトビュー	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
85 車載カメラ	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
8B アダプティブクルーズ2	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
8E 画像処理	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
8Fプリテンショナーフロント左	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
90プリテンショナーフロント右	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
75 テレマティクス	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
1C ビークルポジションディテクション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
76 パーキングエイド	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
2D ヴォイスアンプリフィケーション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
7E インストルメントクラスタディスプレーユニット	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
07 ディスプレーコントロールユニット	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
27 リアディスプレーコントロールユニット	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
4E リア右ディスプレーコントロールユニット	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
5E リア左ディスプレーコントロールユニット	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
47 サウンドシステム	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
57 TVチューナー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
67 ボイスコントロール	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
77 電話	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
6E ルーフディスプレー･コントロールヘッド	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
0F デジタルラジオチューナー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
1F ラジオチューナーサテライト	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
2F デジタルTVチューナー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
6C バックアップカメラ	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
3D スペシャルファンクション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
4D データトランスファー	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
5D オペレーション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
0E メディアプレーヤー1	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
1E メディアプレーヤー2	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
2E メディアプレーヤー3	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
3E メディアプレーヤー4	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
05 アクセス･スタートパーミッション	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

	自己診断	基本設定	データ表示	単独値読込	アクティブテスト	コード制御/レコードモジュール	アダプテーション制御	ログインコントロール	作業サポート	システム情報
06 助手席シート調整	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
36 運転席シート調整	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
66 リア右シート調整	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
48 リア左シート調整	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
88 マルチコンタクタシート運転席	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
8A マルチコンタクタシートリア運転席側	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
8D マルチコンタクタシートリア助手席側	●	–	–	–	–	–	–	–	–	●
28 リアエアコンユニット	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●
7D 補助ヒーター	●	●	●	●	●	●	●	●	–	●

診断機能は、車両によって異なります。

対応車種一覧

ご使用になる前に

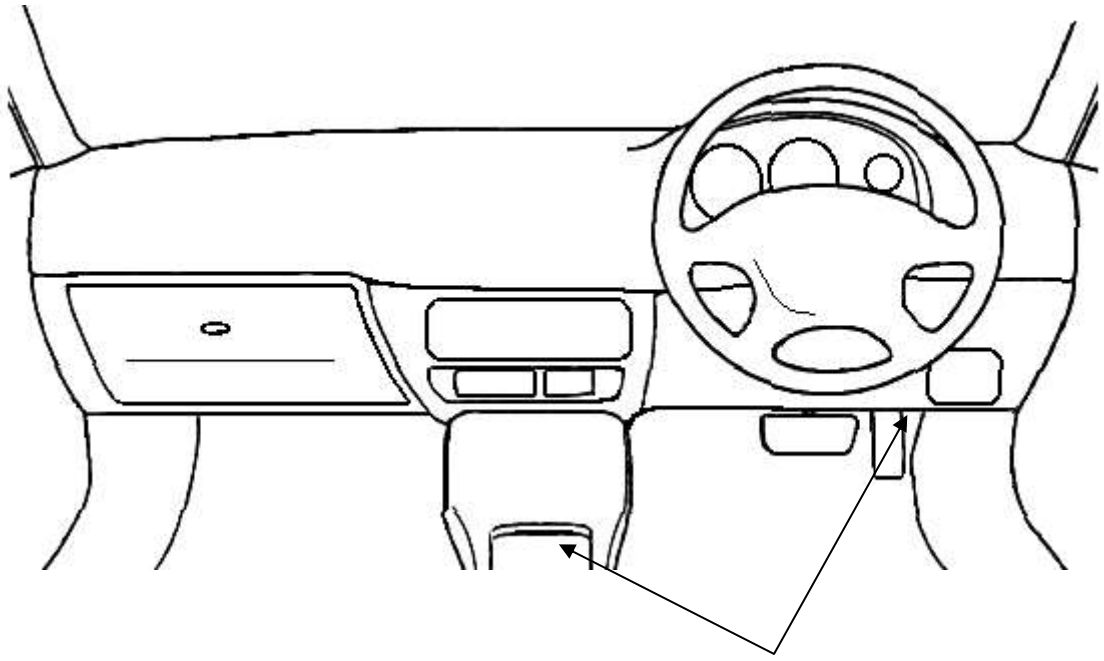
AUDI/VWの対応車種に関しては4ピンコネクタ、OBD16ピンコネクタ装備車になります。

・ 4ピンコネクタ車両の場合、G-scanベーシック、スタンダードを購入された方はオプションのカプラが必要になります。

診断コネクタ取り付け位置

診断コネクタ（4ピン）、診断コネクタ（OBD16ピン）

診断コネクタ（4ピン）、診断コネクタ（OBD16ピン）はセンターになります。



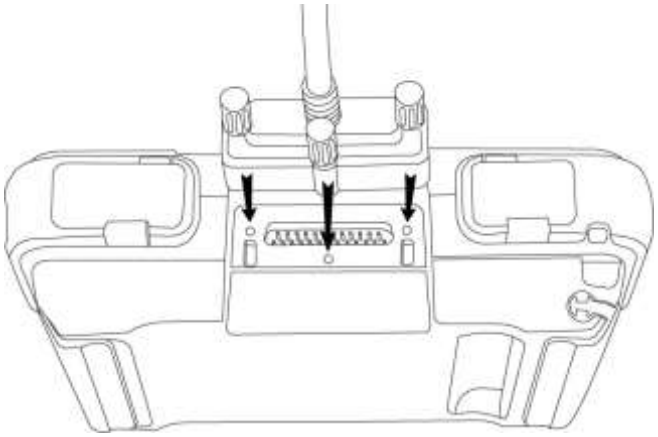
診断コネクタ（4ピン）、診断コネクタ（OBD16ピン）

診断の準備

車両と接続します……P18
電源のON/OFF……P21
車種、システムを選択します……P23

車両と接続します

1）G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。

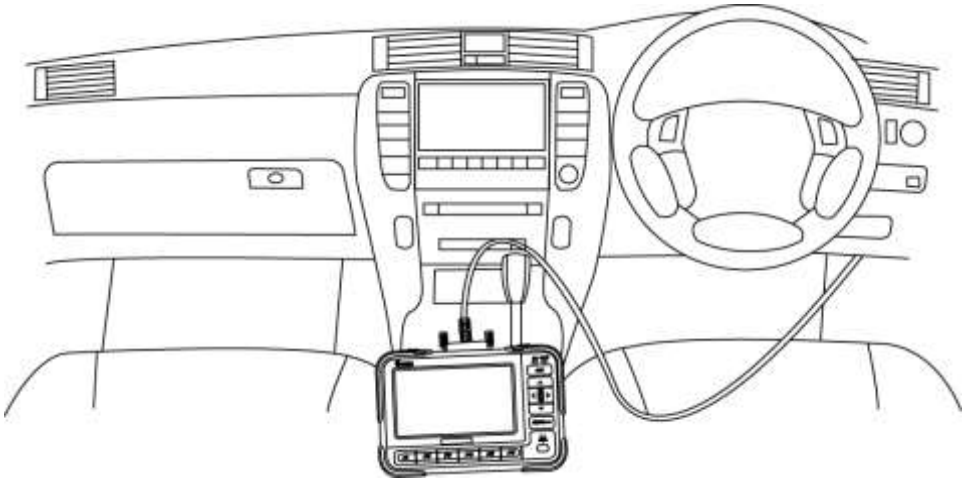


〈図：DLCメインケーブルの接続〉

警告

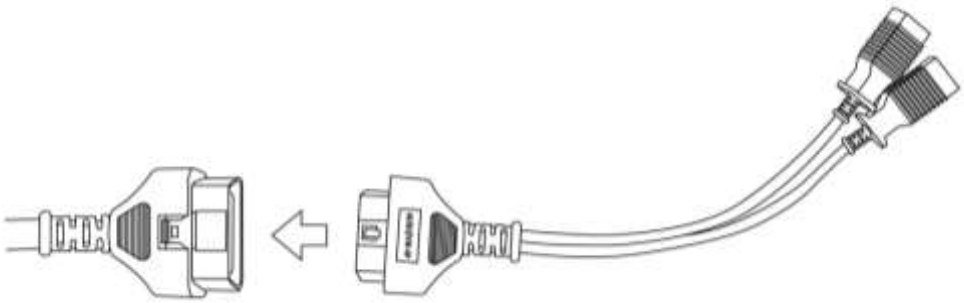
DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

2) G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。



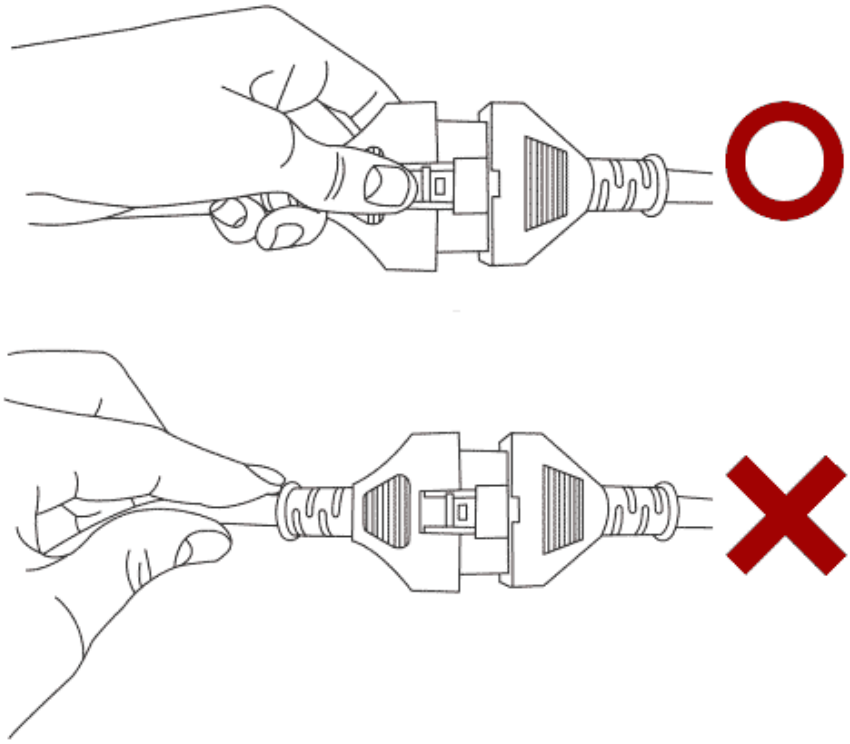
〈図：車両との接続〉

3) 車両の診断コネクタに診断コネクタ（4ピン）が装備されている場合は、付属のAUDI/VW 4ピンをG-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端に接続して、車両の診断コネクタと接続してください。



〈図：AUDI/VW 4ピンとの接続〉

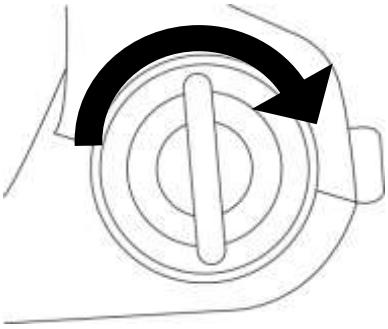
警告



AUDI/VW 4ピンからDLCメインケーブルを取り外すとき、ワイヤを引っ張ったり、曲げたりしないでください。ケーブルやコネクタに損害を与える場合があります。必ずつまみを押しながら取り外してください。

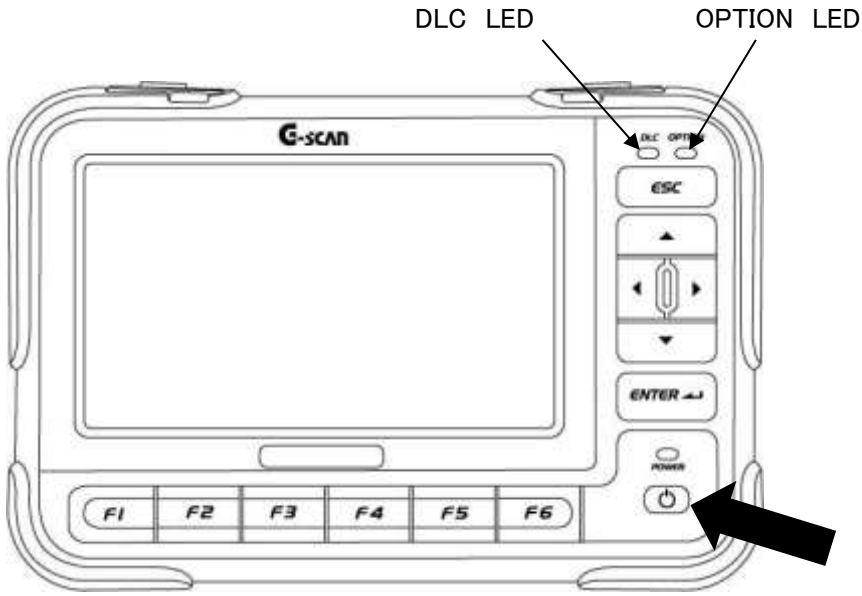
電源のON/OFF

1) 車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



〈図:IG SW ONまたはエンジン始動〉

2) G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。

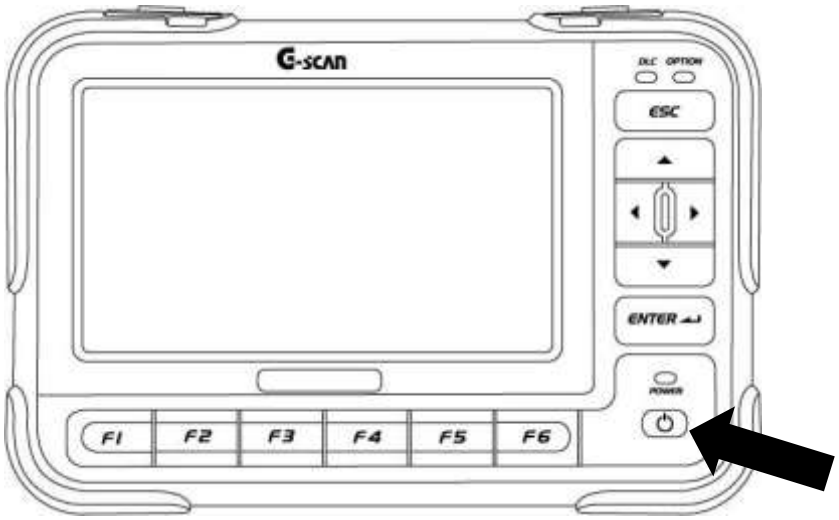


〈図:電源ON〉

3）G-scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。

〈図：G-scanメイン画面〉

4）電源をOFFする場合は、上記のG-scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G-scanの電源がOFFします。

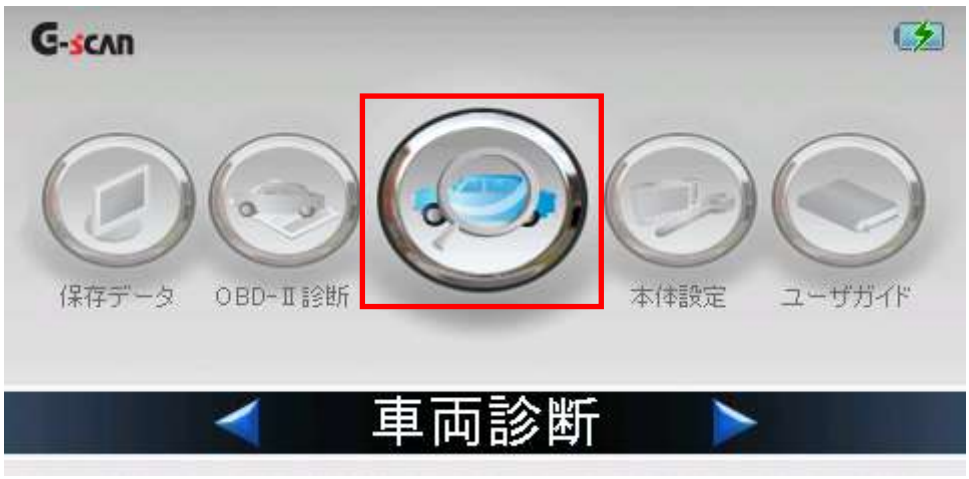


〈図：電源OFF〉

システムを選択します

診断の準備

1）G-scanメイン画面において『車両診断』を選択して、ENTERボタンを押してください。



〈図：車両診断を選択〉

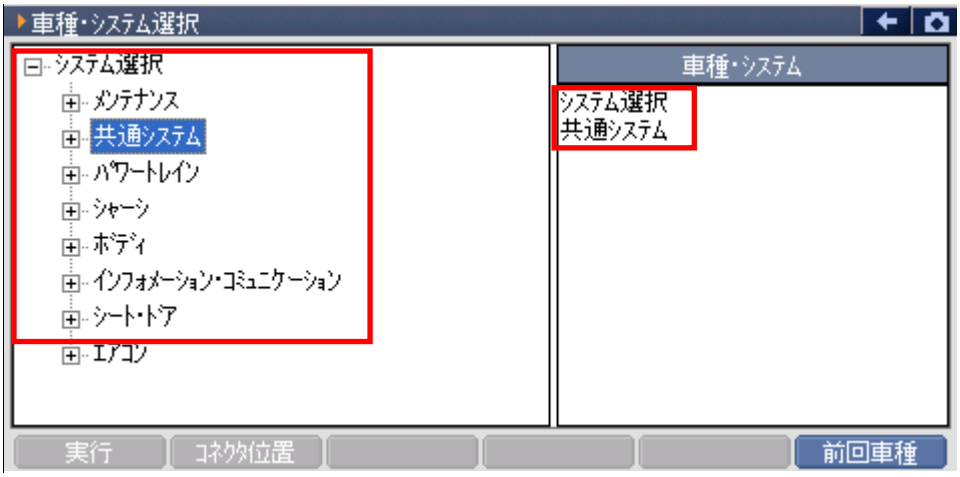
2）メーカー選択画面が表示されます。AUDI、又はVWを選択して、決定ボタンをタッチ、又はF1ボタンを押してください。

〈図：メーカー選択画面〉

3）車種・システム選択画面が表示されます。

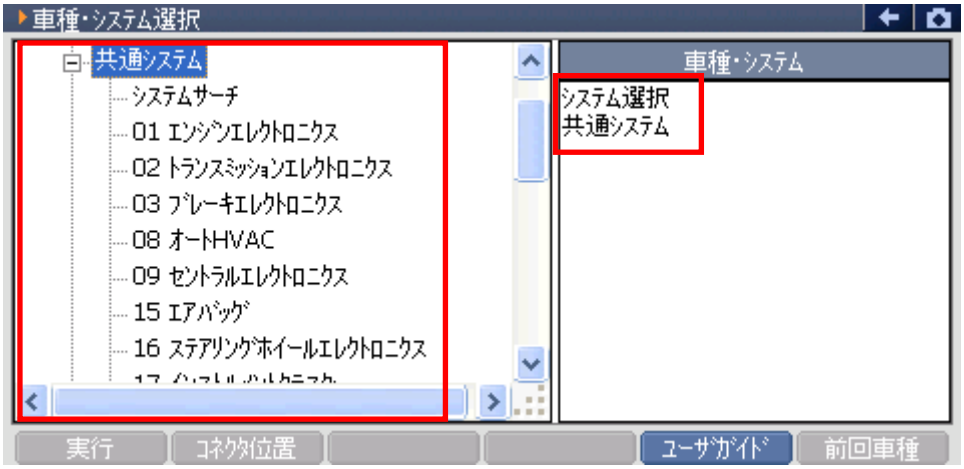
〈図：車種・システム選択画面〉

4） ENTER ボタンを押してください。診断システムが表示されます。



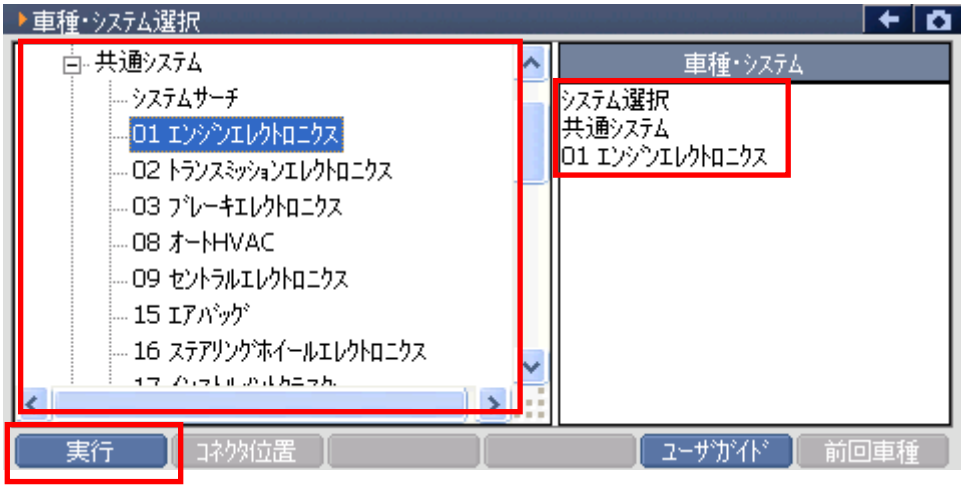
〈図：診断システムを選択〉

5）診断するシステムを選択してください。



〈図：システムの選択〉

6）システムの選択が完了したら、 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。



〈図：システムの選択完了〉

※注意と補足※

- システムの選択は正確に行ってください。正確にシステム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- 車種・システム選択画面で 前回車種 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと、前回選択した車種、システムが自動で選択されます。

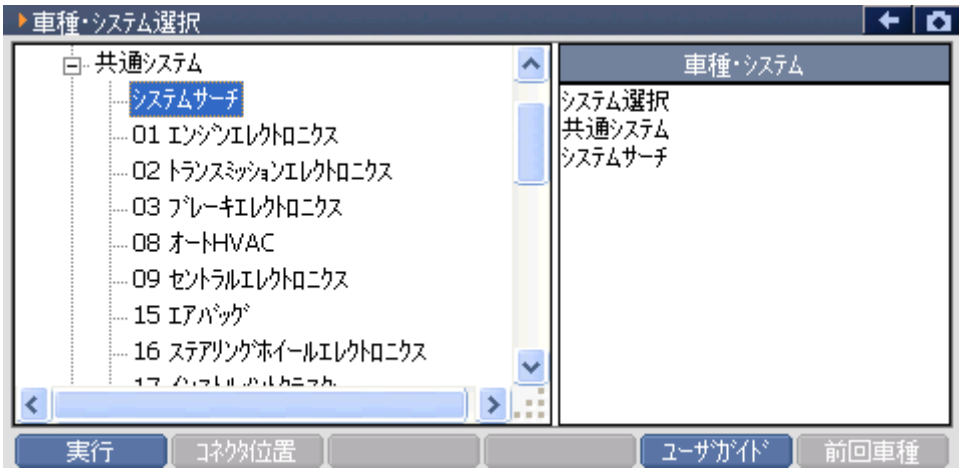
※注意と補足※

・ システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧を表示します。

システム一覧から、システムを選択後 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、7)の診断メニューが表示されます。

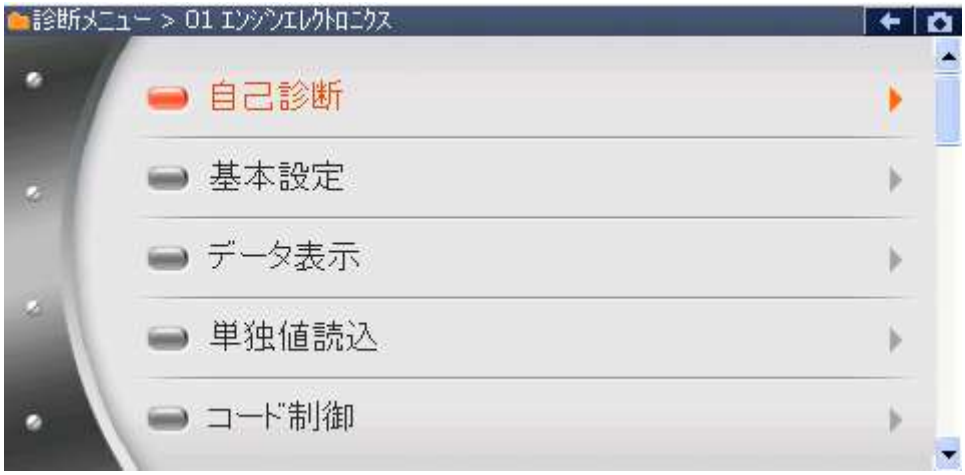
再サーチ ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと再度システムサーチを行います。



〈図:システムサーチ選択〉

〈図:システムサーチ実行後の例〉

7）システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。



〈図：診断メニュー画面〉

※注意と補足※

・ 上記の診断メニューは共通ｼｽﾃﾑ→01 ｴﾝｼﾞﾝｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽを選択した例です。

診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。

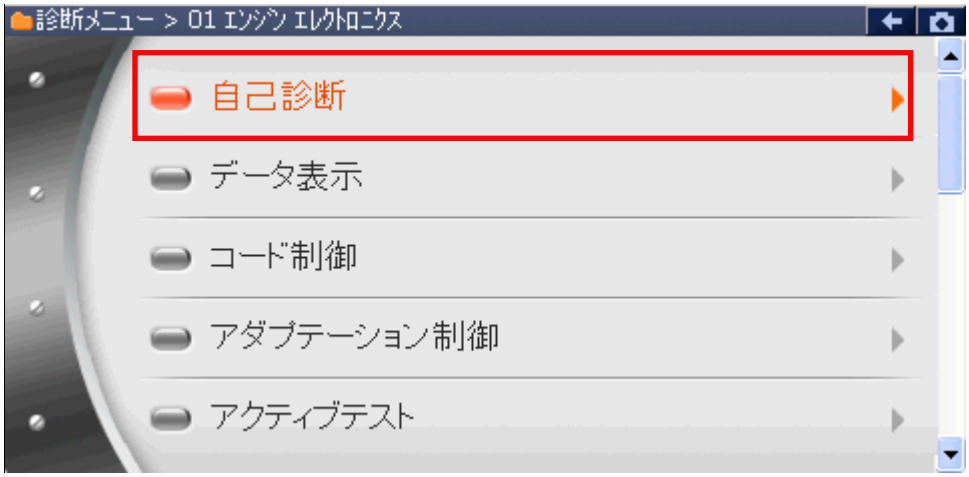
対応システムと機能に関してはP6をご参照ください。

診断機能

自己診断機能.....P29
データ表示機能.....P31
アクティブテスト機能.....P40
サービスリセット機能.....P44
識別情報表示機能.....P50
ログインコントロール機能.....P51
アダプテーション制御機能.....P53
コード制御/レコードモジュール機能.....P56

自己診断機能

1）診断メニューにおいて『自己診断』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて自己診断を選択〉

2）自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。

〈図：自己診断画面〉

故障コード ： AUDI/VW独自の故障コードNo.、又はSAEコード（例：P0135）が表示されます。

故障系統名 ： 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、AUDI/VWのサービスマニュアルをご参照ください。

消去　自己診断記憶を消去します。

3） 消去 ボタンをタッチ、又は F3 ボタンを押すと故障コードを消去します。
以下の画面が表示されますので、OK ボタンをタッチしてください。

〈図：故障コードの消去〉

4）故障コードが消去されました。

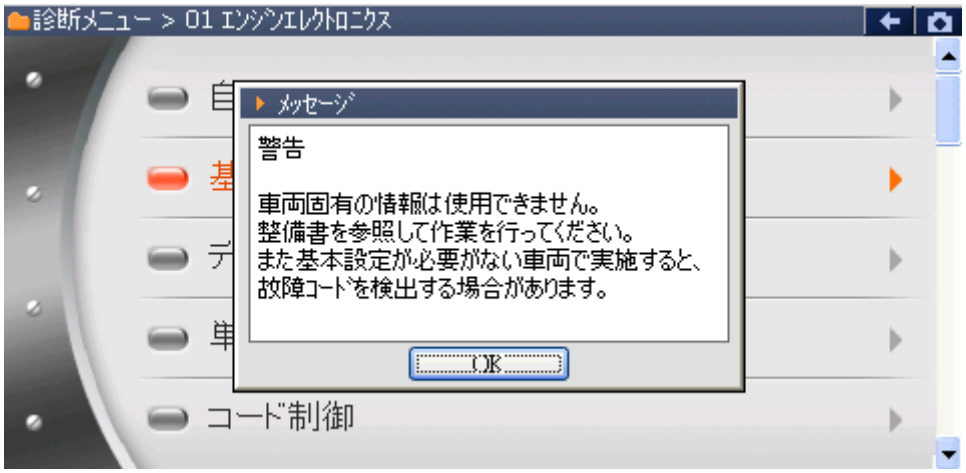
〈図：故障コードの消去完了〉

基本設定機能

1）診断メニューから『基本表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。

〈図：診断メニューにて基本設定を選択〉

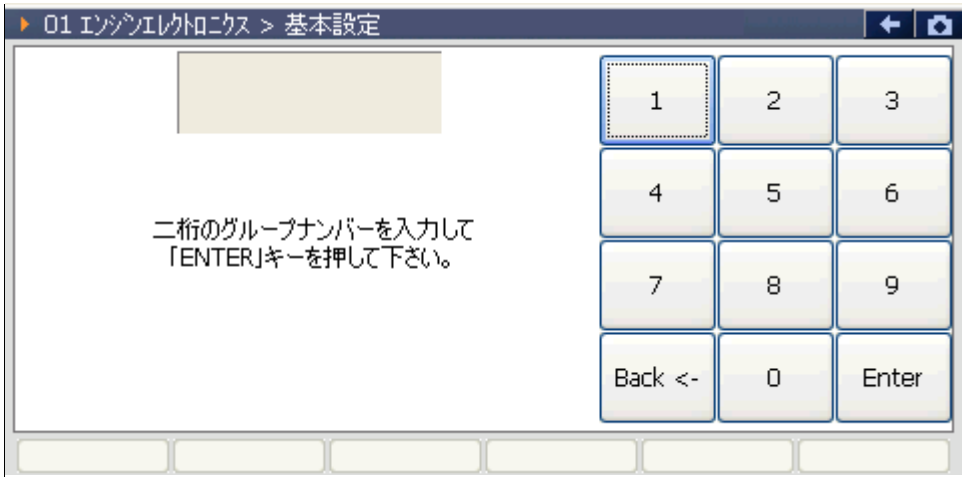
2）注意事項が表示されます。内容を確認した上でOKボタンを押してください。



〈図：基本設定の注意事項表示〉

※注意事項が表示されないシステムもあります。

3）グループナンバーの入力画面が表示されます。実施したい基本設定のグループナンバーを入力して、 Enter を押してください。



〈図：データ表示　グループナンバー入力画面〉

Back <-　　BackSpaceボタンです。入力した数値を１文字分削除します。

※グループナンバーとは

- 関連する項目をグループ単位にまとめたグループの番号です。
- 項目によっては、複数のグループに属する項目もあります。

4）基本設定画面が表示され、指定したグループナンバーに属する項目の現在値が数値で表示されます。この段階で基本設定を実施しています。

〈図：データ表示画面〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

単位 ： 単位が表示されます。

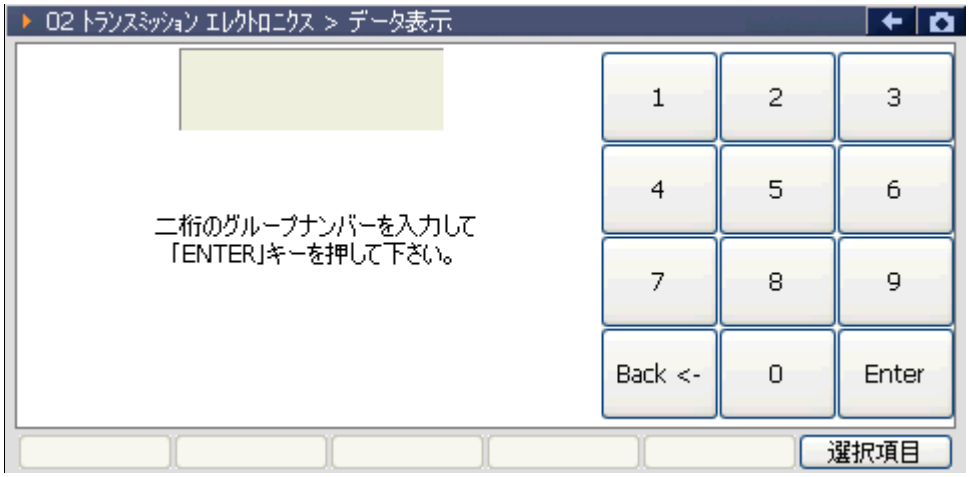
<< 前のグループを表示します。

>> 次のグループを表示します。

1)診断メニューから『データ表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。

〈図:診断メニューにてデータ表示を選択〉

2)グループナンバーの入力画面が表示されます。表示したいグループナンバーを入力して、 Enter を押してください。



〈図:データ表示　グループナンバー入力画面〉

Back <- BackSpaceボタンです。入力した数値を1文字分削除します。

※グループナンバーとは

- 関連する項目をグループ単位にまとめたグループの番号です。
- 項目によっては、複数のグループに属する項目もあります。

3)データ表示画面が表示され、指定したグループナンバーに属する項目の現在値が数値で表示されます。

〈図:データ表示画面〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

単位 ： 単位が表示されます。

<< 前のグループを表示します。

>> 次のグループを表示します。

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP36を参照】
※システムによっては、この機能がないため、その場合は表示されません。

■ 選択項目 ボタンの詳細

※注意と補足※

・ 接続している車両、選択しているシステムによっては、この機能がない場合があります。

① 選択項目 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

〈図:表示項目選択画面〉

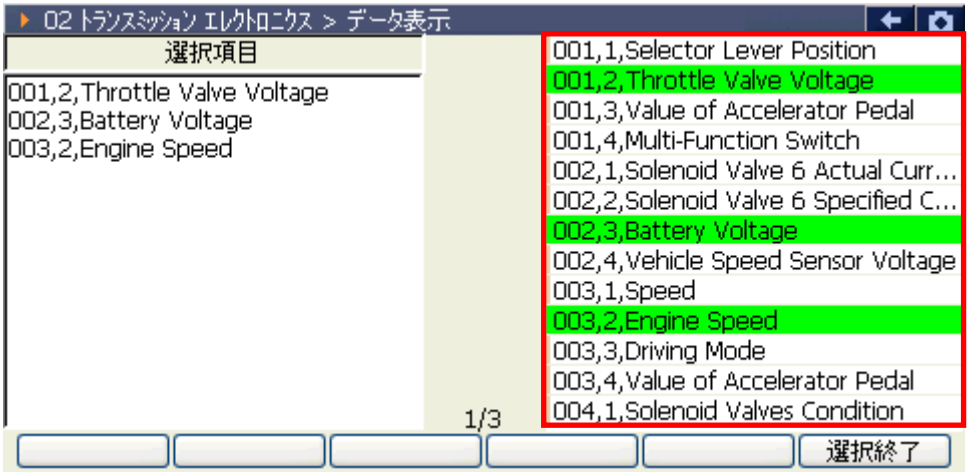
選択項目一覧 ： 選択した項目名が表示されます。

項目一覧 ： 項目一覧が表示されます。

選択終了 選択を終了します。

② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。 ◀ ▶ ボタンを押すと次のページを表示します。

項目の選択を終了する場合は、選択終了 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押してください。



〈図：表示項目を選択中〉

③ データ表示画面に選択した項目が表示されます。

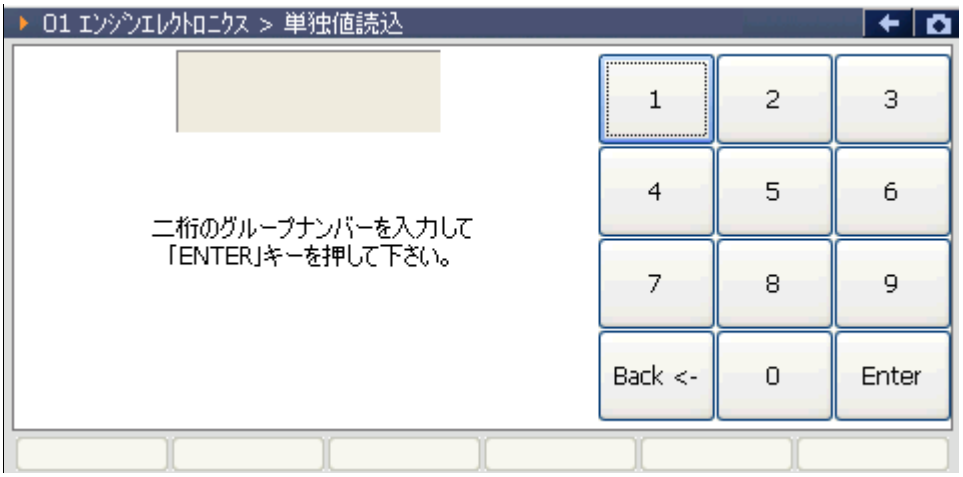
〈図：選択項目の表示〉

単独値読込機能

1）診断メニューから『単独値読込』を選択して ENTER ボタンを押してください。

〈図：診断メニューにて単独値読込を選択〉

2）グループナンバーの入力画面が表示されます。表示したいグループナンバーを入力して、 Enter を押してください。



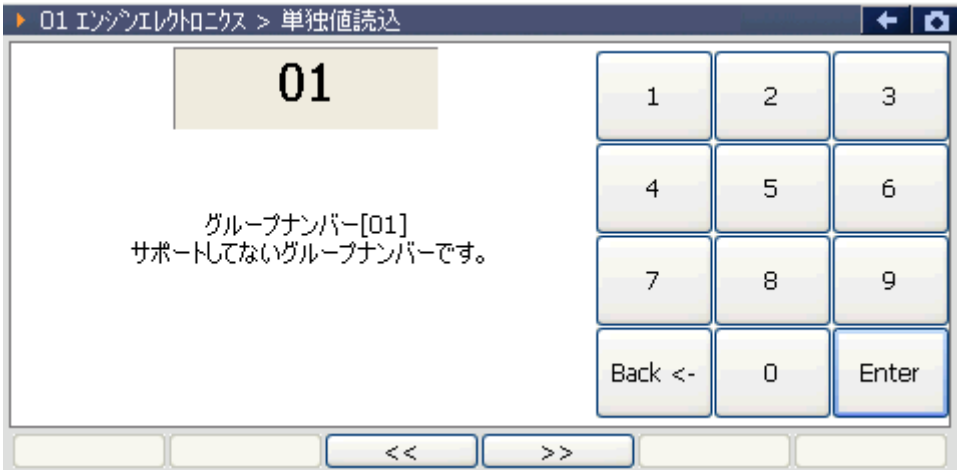
〈図：単独値読込　グループナンバー入力画面〉

Back <-　BackSpaceボタンです。入力した数値を1文字分削除します。

※グループナンバーとは

- 関連する項目をグループ単位にまとめたグループの番号です。
- 項目によっては、複数のグループに属する項目もあります。

3)表示できない場合は、下記のようになります。表示される場合はデータ表示と似た画面になります。



〈図:単独値読込　表示できない画面〉

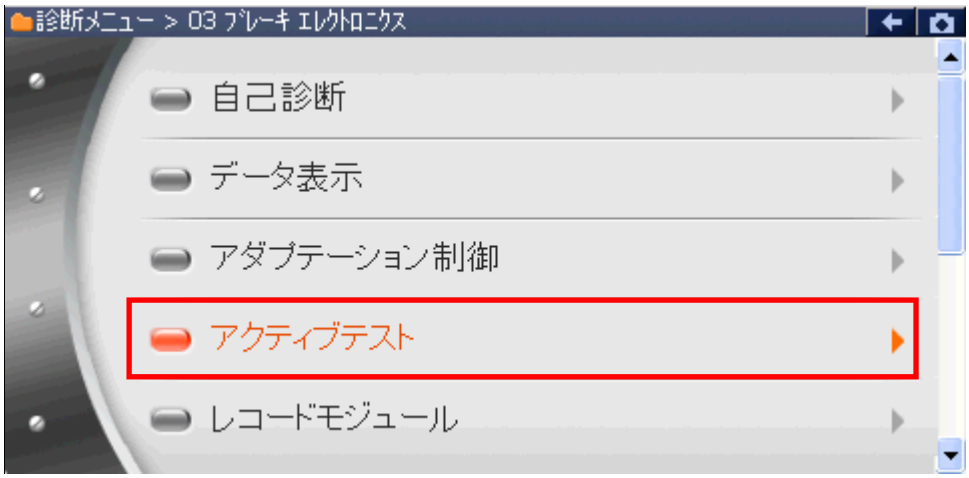
アクティブテスト機能

診断機能

警告

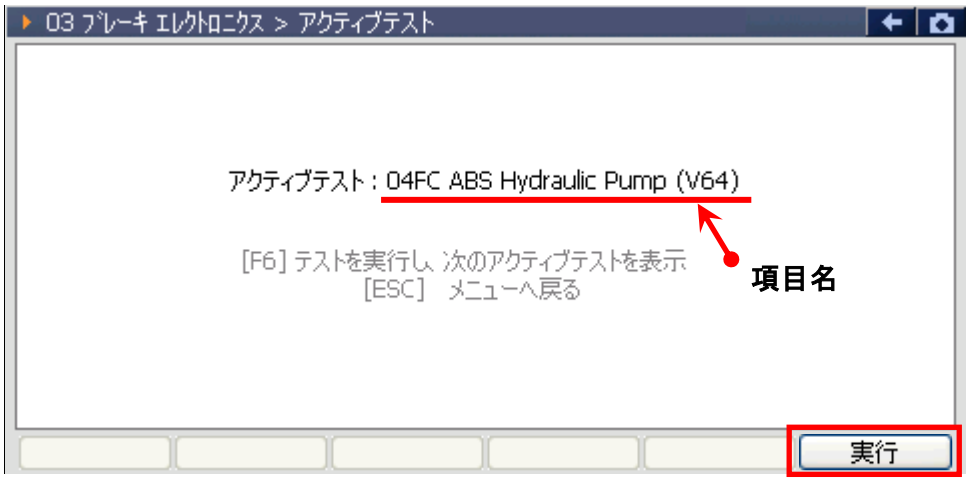
- アクティブテストはAUDI/VWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。

1）アクティブテストでは、G-scanから信号を送ることにより、アクチュエーターやソレノイド、モーターなどを動かしてテストすることが出来ます。診断メニューから『アクティブテスト』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2）アクティブテスト画面が表示されます。項目名を確認して、実行 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押してください。選択しているシステムに関連する全てのアクティブテストを順に実行してきます。

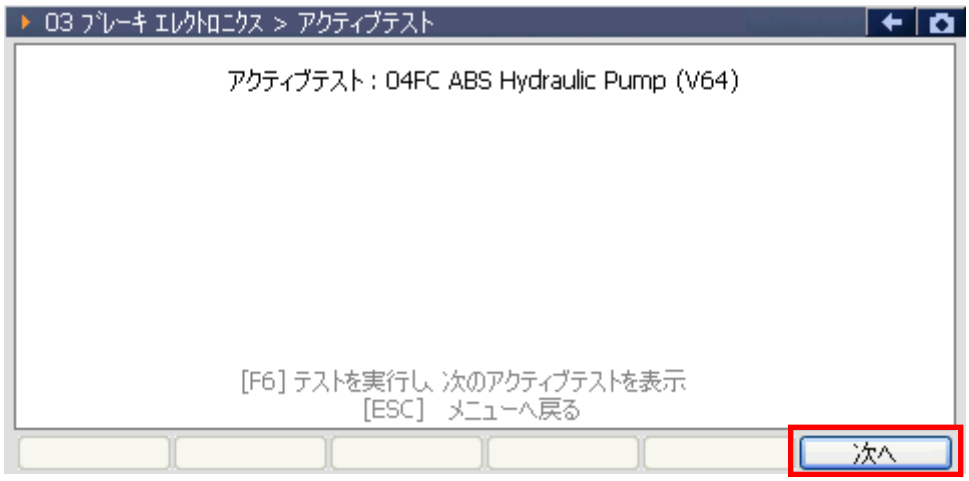


〈図：アクティブテスト画面〉

項目名 ： 次に実行されるアクティブテストの項目名が表示されます。

実行 表示されているアクティブテストを実行します。

3）アクティブテストが開始されます。アクティブテストの動作を確認しましたら、次のアクティブテスト画面に移りますので、次へ ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押してください。

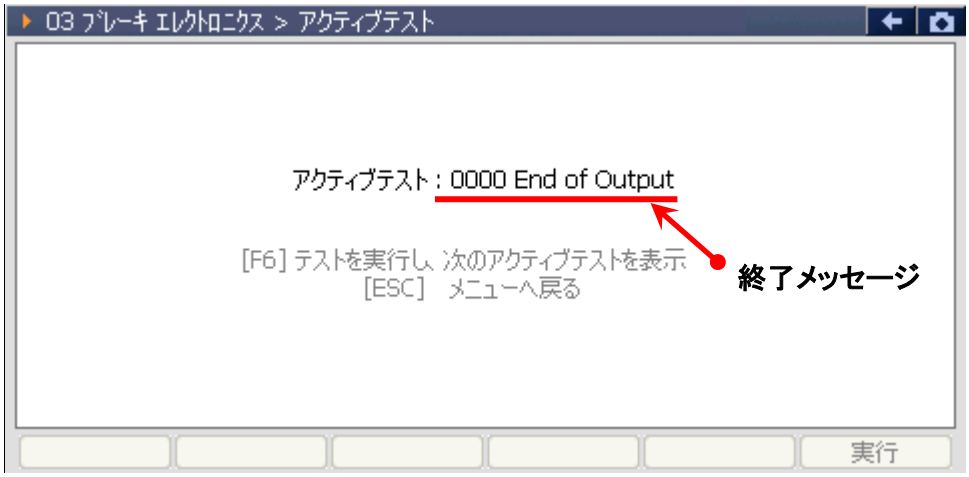


〈図：アクティブテスト実行〉

4) 次に実行されるアクティブテスト画面が表示されます。 2)と同じように、項目名を確認して、実行 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押してください。
以後、全てのアクティブテストが終了するまで2)～3)を繰り返します。
アクティブテストを途中で終了する場合は、esc ボタンを押してメニューに戻ってください。

〈図:アクティブテスト画面〉

5) 全てのアクティブテストが終了すると、終了メッセージが表示されますので、esc ボタンを押してメニューに戻ってください。



〈図:アクティブテスト画面〉

※注意と補足※

- AUDI/VWにおけるアクティブテストの様式は、選択しているシステムのアクティブテスト項目全てを順に行っていくため、他メーカーのアクティブテスト様式とは異なります。

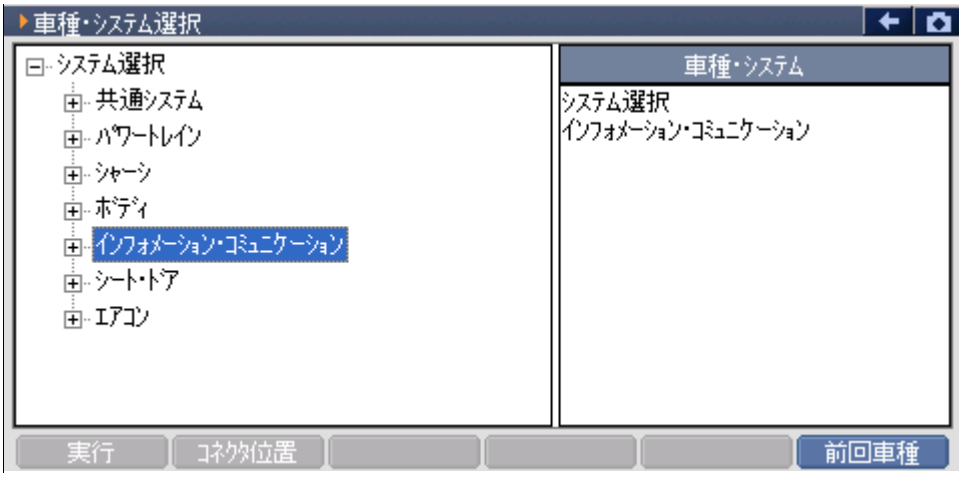
サービスリセット機能

診断機能

警告

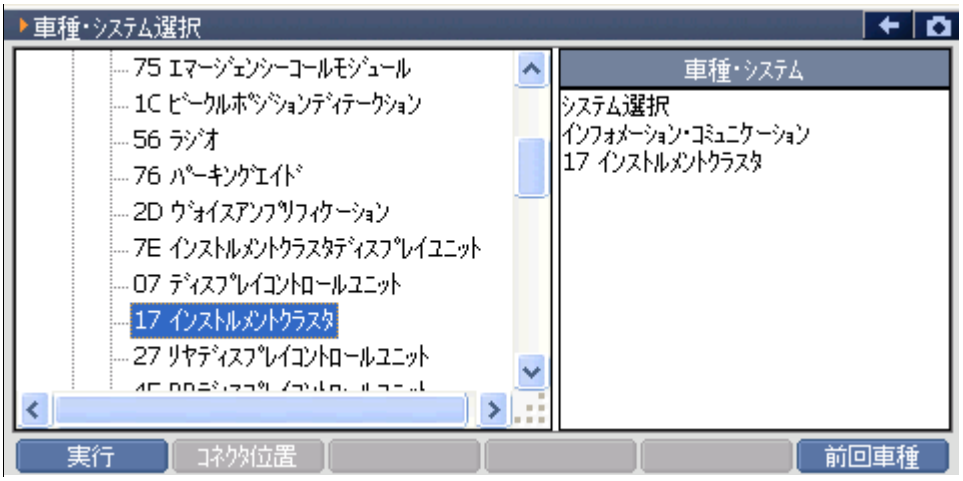
- サービスリセットはAUDI/VWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- サービスリセットは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。

1）サービスリセットでは、メンテナンス情報のリセットや変更を行なうことが出来ます。車種・システム選択画面にて『インフォメーション・コミュニケーション』を選択して、ENTER ボタンを押してください。システムの詳細が表示されます。



〈図：インフォメーション・コミュニケーションを選択〉

2）『17 ｲﾝｽﾄﾙﾒﾝﾄｸﾗｽﾀ』を選択して、ENTER ボタンを押してください。
通信が開始され診断メニューが表示されます。



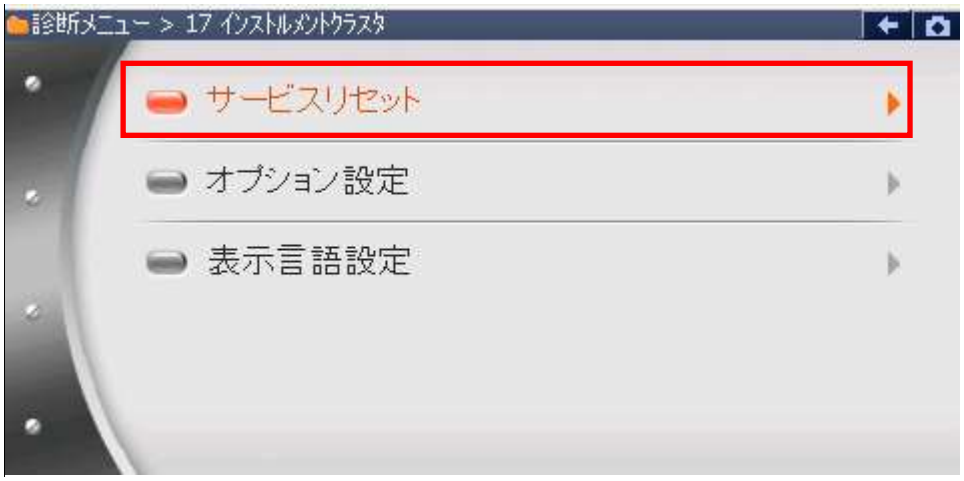
〈図：ｲﾝｽﾄﾙﾒﾝﾄｸﾗｽﾀ選択画面〉

3）診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。作業サポートメニューが表示されます。

〈図：作業サポートを選択〉

4）『作業サポート』選択後の診断メニューにおいて『サービスリセット』を選択して

ENTER ボタンを押してください。サービスリセットメニューが表示されます。



〈図：サービスリセットを選択〉

5）サービスリセットメニューが表示されます。

『Service Reset(OIL INSP)』：オイル交換時期と残り走行距離をリセットします。

『Service Reset(OIL)』　　：オイル交換時期をリセットします。

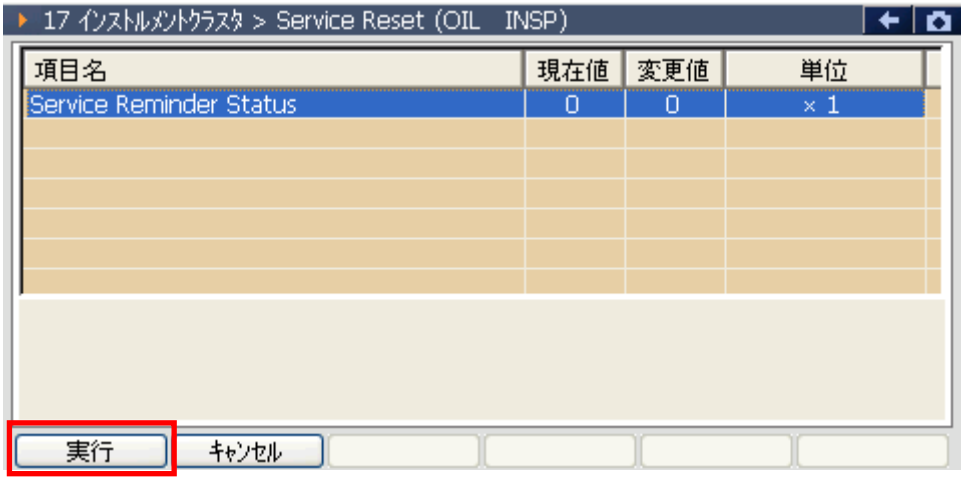
『Service Reset(INSP)』　　：残り走行距離をリセットします。

通常のリセットを実施する場合、『Service Reset(OIL INSP』を選択してください。

車両のタイプによってメニュー表示が異なります。

〈図：Service Reset(OIL INSP)を選択〉

6）サービスリセット画面が表示されます。 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。サービスリセットが開始され、変更値の値が現在値にリセットされていきます。

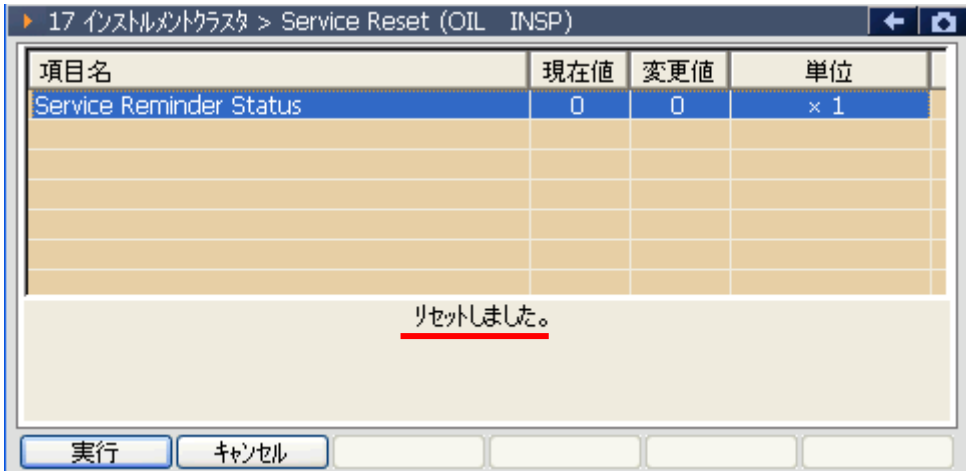


〈図：サービスリセット実行画面〉

※注意と補足※

- 項目名に表示される項目は、接続している車両によって異なります。

7）サービスリセットが正常に終了すると、『リセットしました。』と表示されます。



〈図：サービスリセット完了画面〉

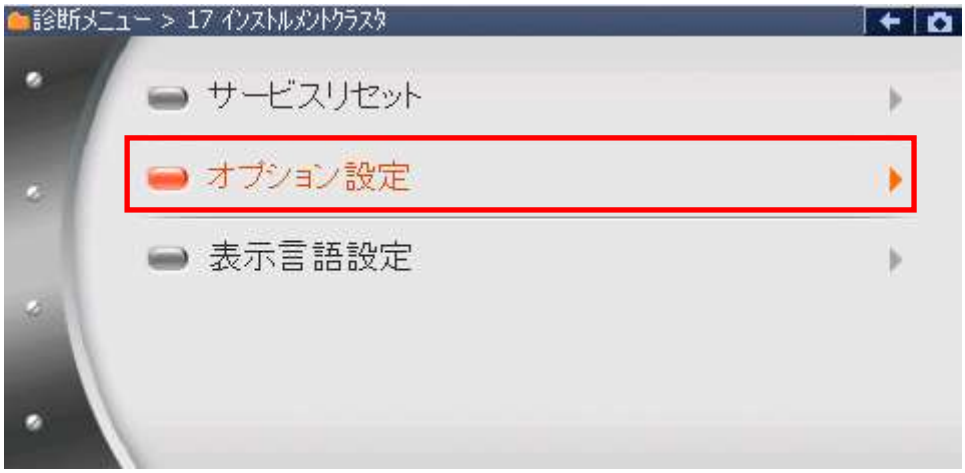
※補足※

インストルメントクラスタシステムの作業サポート機能では、接続している車両によって

『サービスリセット』以外にも、『オプション設定』や『表示言語設定』が出来る場合があります。

≪オプション設定が出来る場合≫

1）診断メニューから『オプション設定』を選択して ENTER ボタンを押してください。



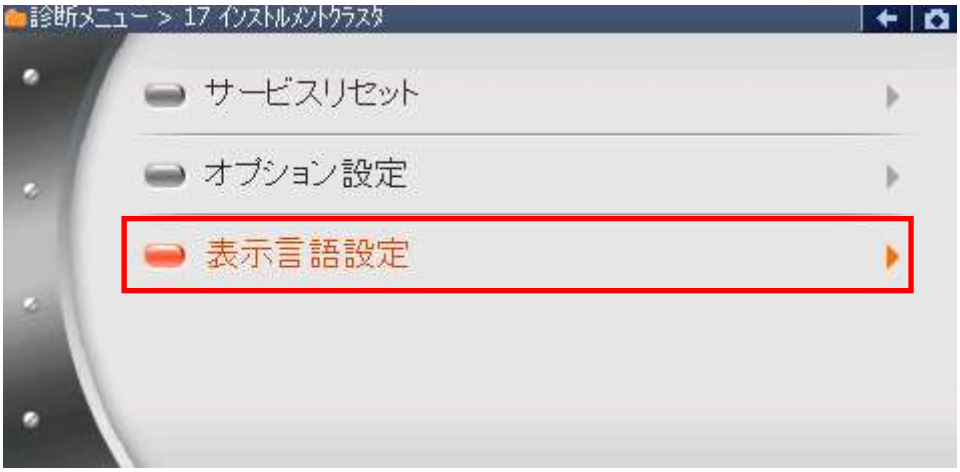
〈図：オプション設定を選択〉

2）オプション設定画面が表示されますので、各項目の変更値の部分をタッチして変更したい値に変更した後、ボタンをタッチして変更を確定してください。

〈図：オプション設定画面〉

≪表示言語設定が出来る場合≫

1） 診断メニューから『表示言語設定』を選択して ENTER ボタンを押してください。

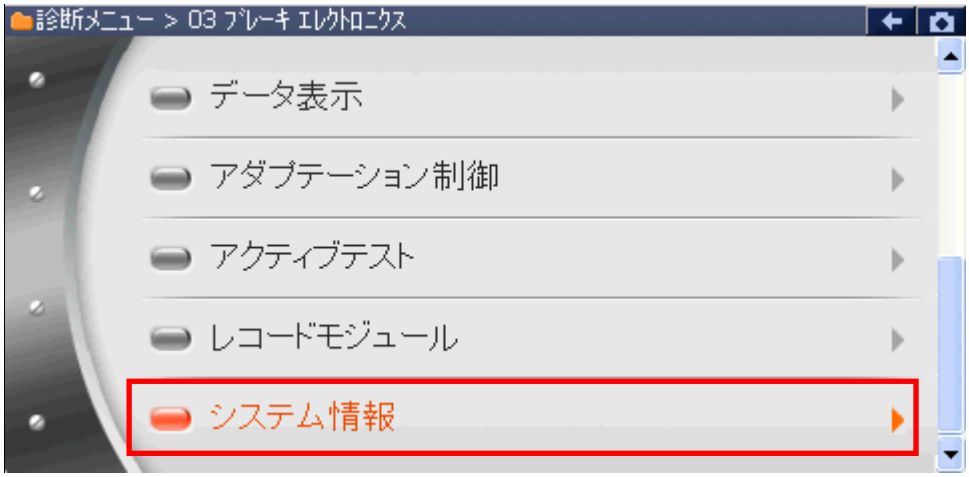


〈図：表示言語設定を選択〉

2） 表示言語設定画面が表示されますので、ボタンをタッチして、変更したい言語に変更値を切り替えてください。切り替えが終わりましたら、ボタンをタッチして、変更を確定してください。

〈図：オプション設定画面〉

1）診断メニューから『システム情報』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにてシステム情報を選択〉

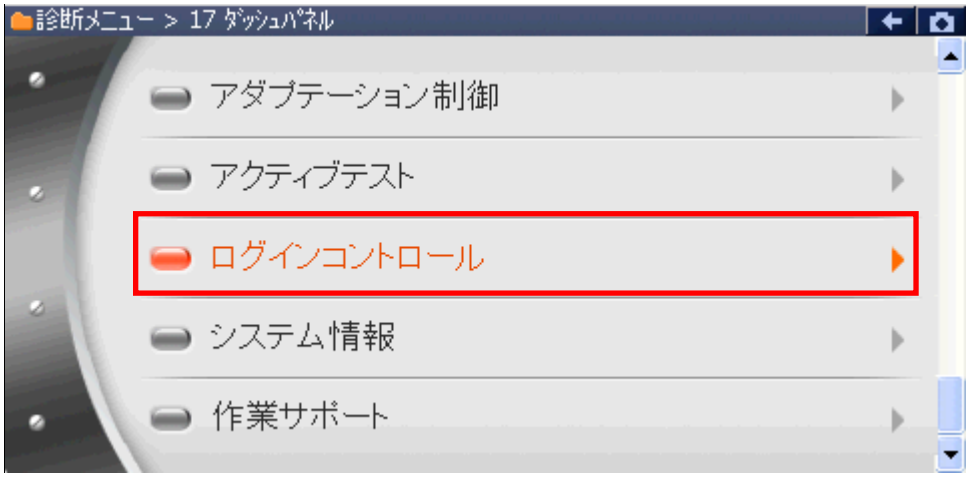
2）システム情報が表示されます。

〈図：システム情報表示画面〉

ログインコントロール機能

診断機能

1）ログインコントロール機能では、アダプテーション制御機能【P53】やコード制御/レコードモジュール機能【P56】において、特定の項目や車両の設定をする場合に必要とされる『ログイン』を行うことが出来ます。
診断メニューから『ログインコントロール』を選択して ENTER ボタンを押してください。

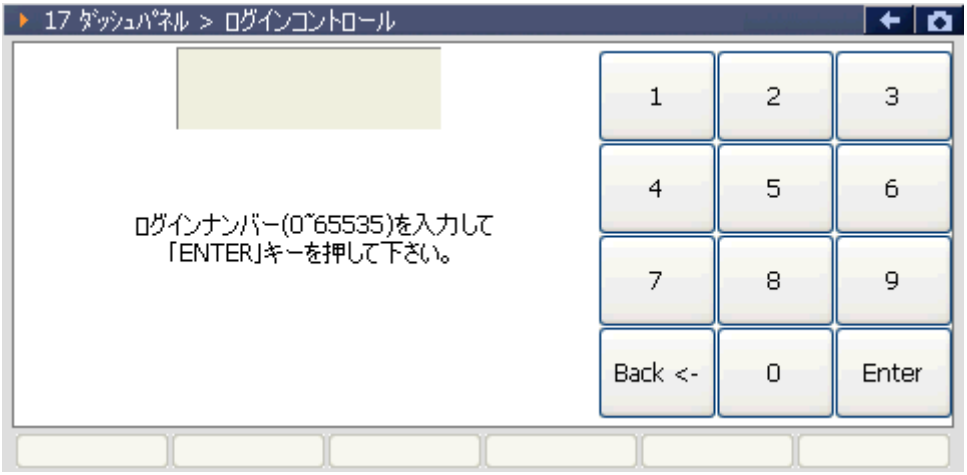


〈図：ログインコントロールを選択〉

※注意と補足※

- ログインが必要とされる設定を、アダプテーション制御機能【P53】やコード制御/レコードモジュール機能【P56】で行う場合、設定を行う前に必ず、ログインを行う必要があります。

2）AUDI/VWのサービスマニュアルを参照して、有効なログインナンバーを入力して、 Enter を押してください。



〈図：ログインナンバーを入力〉

Back <- BackSpaceボタンです。入力した数値を1文字分削除します。

※注意と補足※

- もし、間違ったログインナンバーを入力した場合は、一度イグニッションキーをOFFにして、数分経過した後に再度ログインを行ってください。

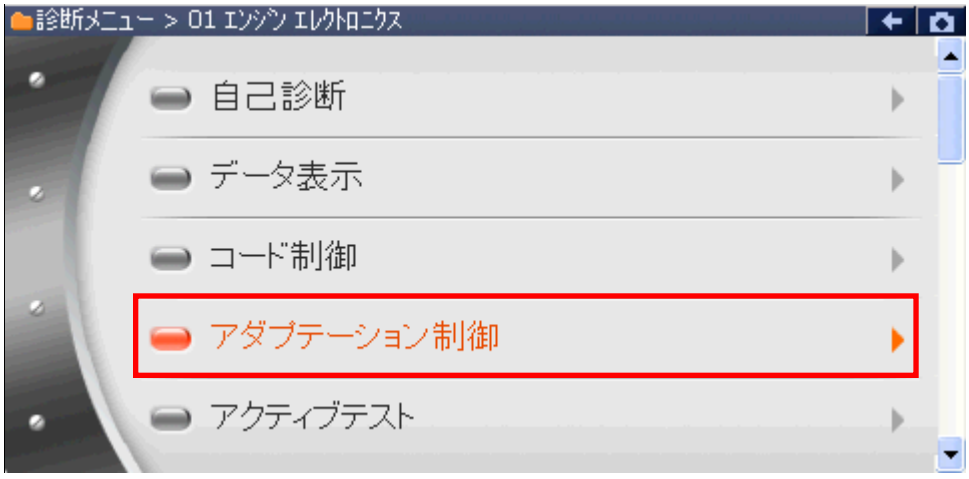
アダプテーション制御機能

診断機能

警告

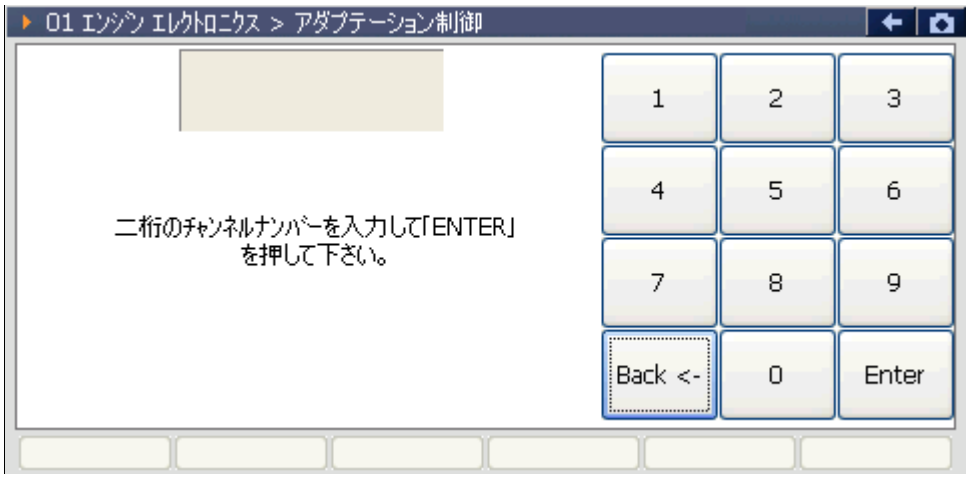
- アダプテーション制御はAUDI/VWのサービスマニュアルにより各システムの制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アダプテーション制御は車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。

1）アダプテーション制御では、車両側に設定されている、特定の項目の値や設定値を変更することが出来ます。診断メニューから『アダプテーション制御』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：アダプテーション制御を選択〉

2）チャンネルナンバーの入力画面が表示されます。変更したい項目のチャンネルナンバーを入力して、 Enter を押してください。



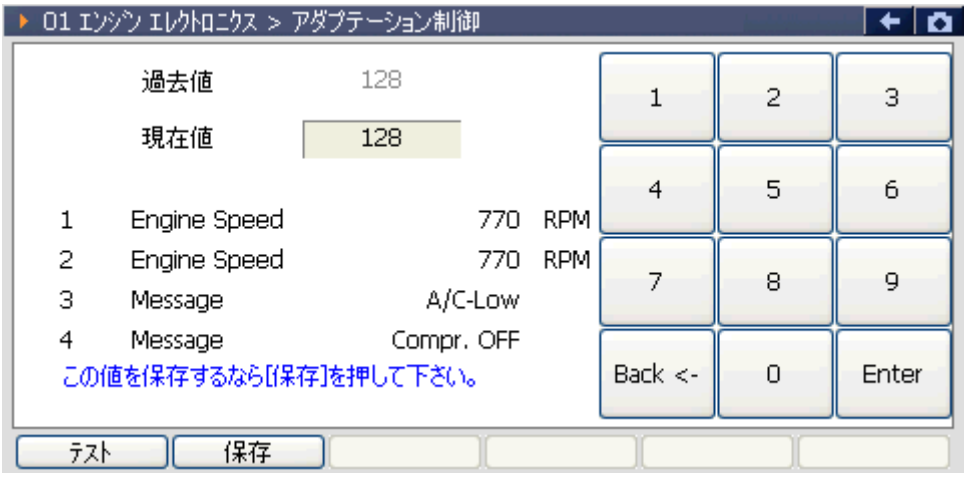
〈図：チャンネルナンバー入力画面〉

Back <- BackSpaceボタンです。入力した数値を１文字分削除します。

3）アダプテーション制御画面が表示されまます。新しく設定する値ををを入力して、 テスト 又は Enter を押してください。テストとして、入力した値が一時的に設定されます。

〈図：設定値入力画面〉

4）新しく入力した値の保存確認画面が表示されます。テストした値を保存する場合は、保存 ボタンをを押してください。保存しない場合はesc ボタンを押して、メニューに戻ってください。保存しない場合、テストで一時的に設定された値はIGキーOFF後に消去されます。

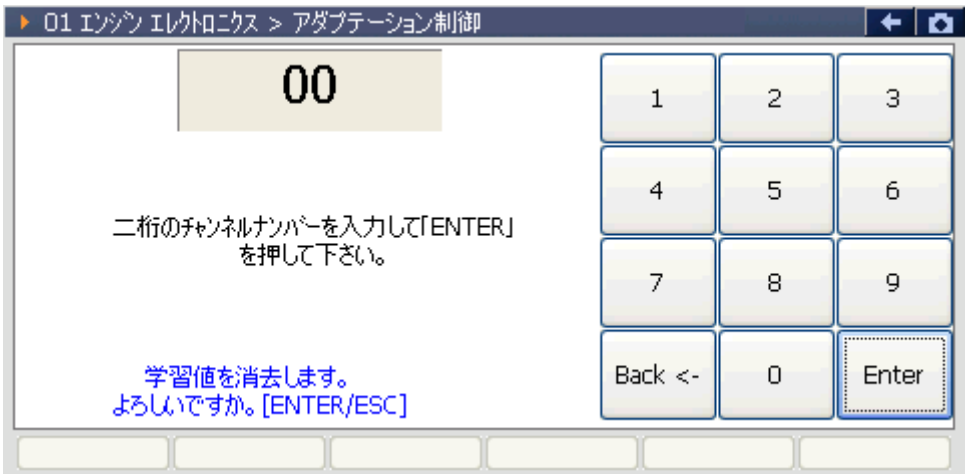


〈図：入力値保存確認画面〉

※注意と補足※

・ チャンネルナンバー「00」では、学習値の消去が行えます。

学習値の消去を行うと全てのチャンネルの値が初期値に戻ります。



・ 車両やシステムによっては、学習値の消去が出来ない場合もあります。

G-SCAN コード制御/レコードモジュール機能

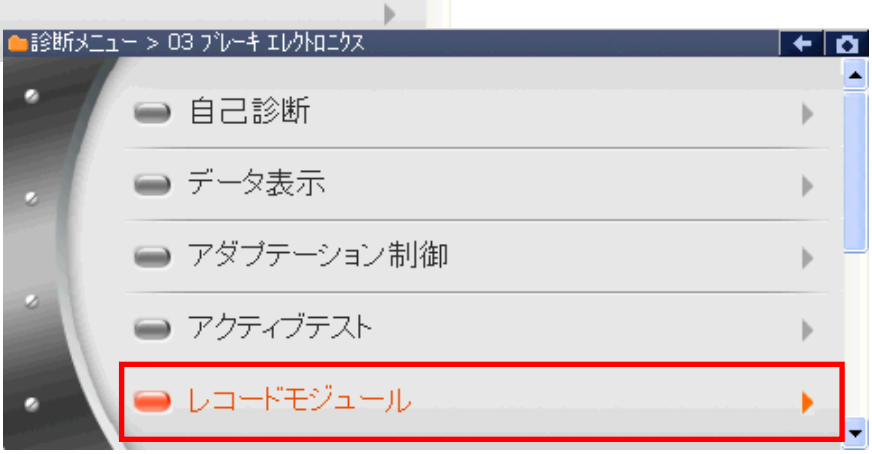
診断機能

警告

- コード制御及びレコードモジュール機能はAUDI/VWのサービスマニュアルにより各システムの制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- コード制御及びレコードモジュール機能は車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。

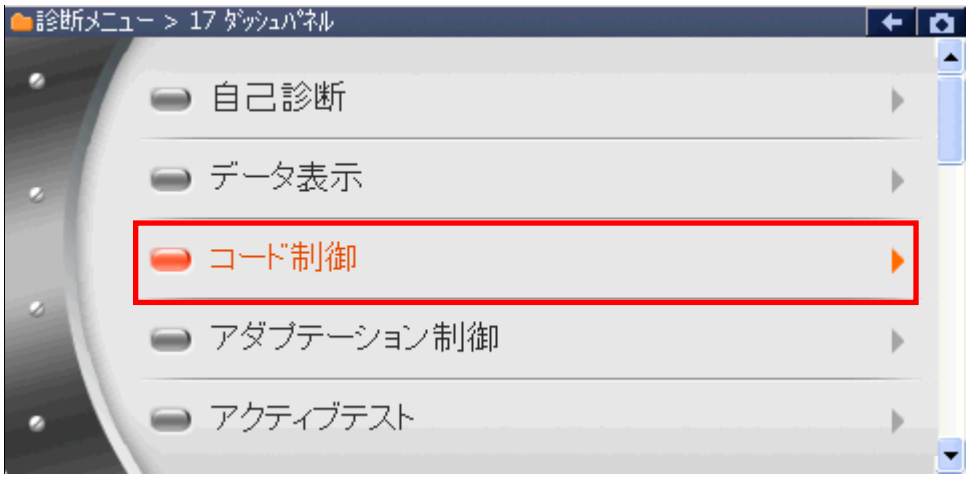
1）コード制御/レコードモジュール機能では、車載ECUのオプション設定を行うことが出来ます。

診断メニューの項目には、接続している車両や選択しているシステムによって、『コード制御』又は、『レコードモジュール』どちらかのタイプが表示されます。



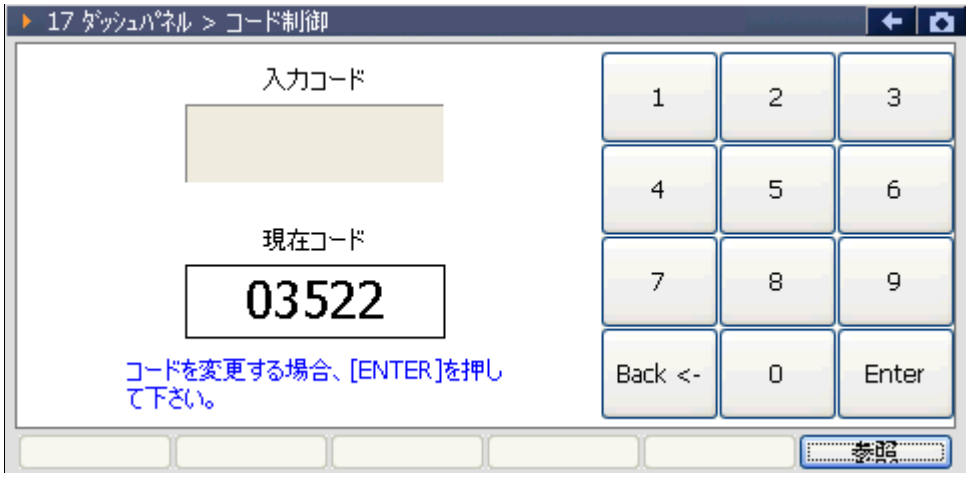
≪コード制御 タイプの場合≫

2）診断メニューから『コード制御』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：コード制御を選択〉

3）コードの入力画面が表示されます。新しく設定するコードを入力して、 Enter を押してください。



〈図：コード入力画面〉

Back <- BackSpaceボタンです。入力した数値を1文字分削除します。

参照 参考資料データを開きます。（参考資料がない場合もあります）
システムによっては、ボタンが表示されない場合もあります。

※注意と補足※

- コードの変更を行う時は、必ず現在のコードをメモしてください。

  一度変更すると自動で戻すことは出来ませんので、変更前の値に戻す場合は手動で戻して頂く必要があります。

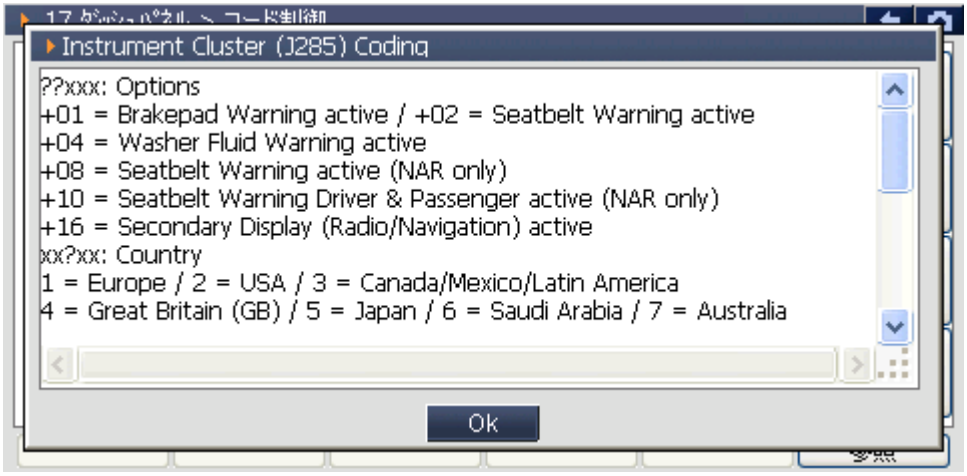
- 間違ったコード変更は車載ECUの誤作動を引き起こす恐れがあります。

  必ずAUDI/VWのサービスマニュアルを参照してください。

■ 参照 ボタンの詳細

参照 ボタンを押すと、参考資料データが表示されます。

接続している車両に適した正確な資料は、AUDI/VWのサービスマニュアルを参照してください。



〈図:参照画面表示〉

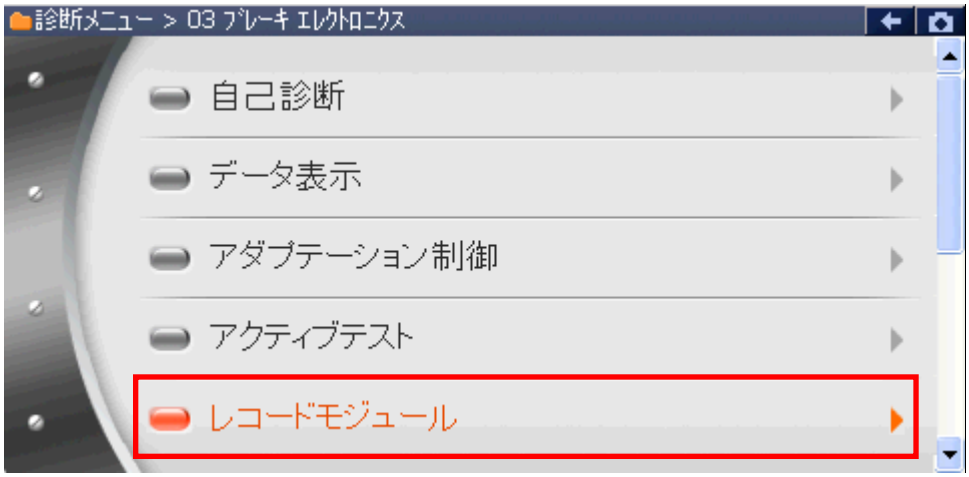
※補足※

- 参考資料データに記載されている「+」記号は、「加算」を意味しています。

  例えば、「+01」と「+04」の項目をONにしたい場合は、「??」の部分を「05」に設定します。

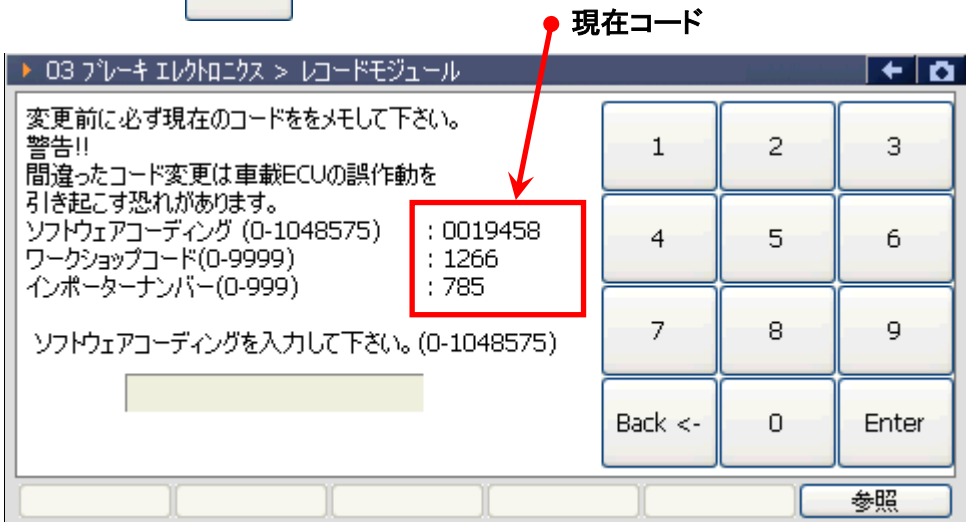
≪レコードモジュール タイプの場合≫

2）診断メニューから『レコードモジュール』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：レコードモジュールを選択〉

3）コードの入力画面が表示されます。新しく設定するソフトウェアコーディングのコードを入力して、Enter を押してください。



〈図：コード入力画面〉

Back <- BackSpaceボタンです。入力した数値を1文字分削除します。

参照 参考資料データを開きます。（参考資料がない場合もあります）
システムによっては、ボタンが表示されない場合もあります。【詳細はP6に記載】

※注意と補足※

- レコードモジュールでは、ソフトウェアコーディングのコード変更のみを行います。

  ワークショップコード、インポーターナンバーの変更は出来ません。

- コードの変更を行う時は、必ず現在のコードをメモしてください。

  一度変更すると自動で戻すことは出来ませんので、変更前の値に戻す場合は手動で戻して頂く必要があります。

- 間違ったコード変更は車載ECUの誤作動を引き起こす恐れがあります。

  必ずAUDI/VWのサービスマニュアルを参照してください。

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616　Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年9月発行　第11版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-12-11